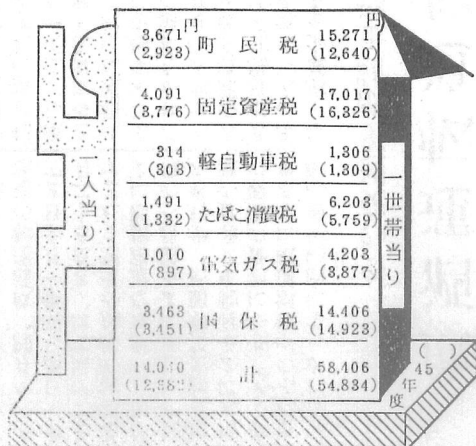


才出

才出については、総額五億七千九百七十万七千円です。その主なものは、教育費一億八百三十一万四千円(十八・七%)、土木費九千七百二十三万一千円(十六・八%)、総務費八千六百四十四万四千円(十四・九%)、商工費五千四百万二千円(十四・九%)、農林水産費五千三百五十三万六千円(九・二%)、民生費四千六百五十五万三千円(八%)の順となっております。性質別では、普通建設事業に二億四千九百二十四万九千円(四十・九%)、次に人件費一億五千二百十万円(二十五%)、補助費八千三百二十九万一千円(十三・七%)となっております。以上のことから重点施策の教育施設の充実、道路網の整備、産業の振興、住民福

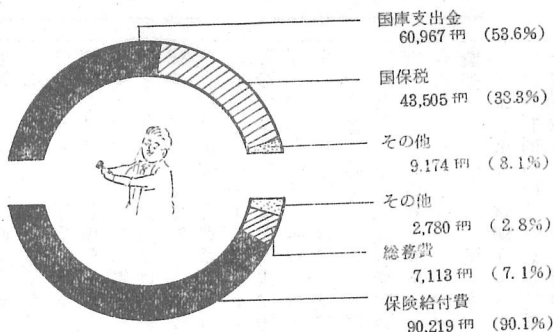
- ▼上堺小学校建設事業 四九、一八七千円
- ▼道路整備事業 四八、五〇二千円
- ▼住宅建設事業(二十戸) 二一、三八〇千円
- ▼国民保養センター建設事業 四二、六二四千円
- ▼青年館建設事業 三、〇二四千円
- ▼公共用地取得事業 三七、五二九千円
- ▼漁業施設整備事業 一五、二七九千円
- ▼消防施設整備事業

3図



4表 国民健康保険特別会計

歳入決算高	113,646千円
歳出決算高	100,112千円
差引残高	13,534千円



五、九七二千円
 ▼農業構造改善事業 五、四二一千元
 ▼その他の施設整備事業 二〇、三三一千元

借りにいるお金

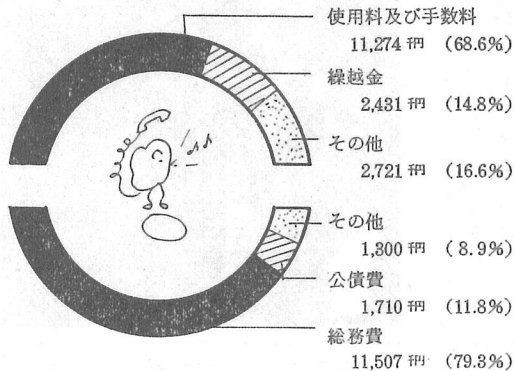
昭和四十六年度末現在高は二億三千九百六十一万八千円です。この資金源は、大蔵省郵政省の低利な資金を活用の外千葉県独自の資金等で学校、住宅、道路、福祉施設などの建設事業のため借りたお金です。このうち、八千三百十万円は四十六年度に借りたお金です。その内訳は道路整備事業債九百万円、住宅建設事業債八百九十万円

二、特別会計

国民健康保険特別会計に於いては、受診率の上昇による療養費の増高から相変らず大きな伸びがみられます。有線放送特別会計、老人ホーム特別会計については、経常費的決算となっております。又国民保養センター特別会計については、一般会計から四十万の繰入をなし、黒字決算となりました。(四七表)

5表 有線放送電話特別会計

歳入決算高	16,426千円
歳出決算高	14,517千円
差引残高	1,909千円



6表 国民保養センター特別会計

歳入決算高	1,121千円
歳出決算高	1,032千円
差引残高	89千円

7表 老人ホーム特別会計

歳入決算高	18,389千円
歳出決算高	17,669千円
差引残高	720千円

